

出穂期が平年より2日早まる予想です

早生品種の穂肥は遅れずに実施!

令和4年6月20日
長岡農業普及指導センター
稲作情報 No. 4

電話 0258-38-2554

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp

【生育調査ほの生育状況（6月20日現在）】（指標値比・差）

こしいぶき（管内4か所平均）

草丈：38 cm（95%）

茎数：502本/m²（117%）

葉数：9.3葉（+0.6葉）

葉色（SPAD値）：43.9（+1.9）

コシヒカリ（管内7か所平均）

草丈：36 cm（99%）

茎数：460本/m²（123%）

葉数：8.7葉（+0.6葉）

葉色（SPAD値）：41.0（+1.6）

○茎数が多く、葉色がやや濃い状況です。特に中山間地で葉色が濃い傾向が見られます。

○田面が乾いていないほ場が多く見られます。コシヒカリは中干しを継続し、小ヒビが入る程度で終了しましょう。

1 中干し後の水管理

(1) 中干しは田面に小ヒビが入る程度で終了しましょう。

根域が縮小し、収量・品質が低下する恐れがあるため、出穂期1か月前までに中干しを終了しましょう。

(2) 中干し後は浅水の間断かん水を行い、徐々に飽水管理に移行しましょう。

飽水管理は、発根を促進し、根を健全に保ちます。

中干し後にたん水を続けると根腐れや下葉の枯れ上りを招きます。

2 出穂期予想と穂肥時期のめやす

(1) 出穂期は、平年及び前年より2日早い予想です。

1か月予報（6/16新潟地方気象台発表）によると、6月18日からの向こう1か月は気温が高い確率が60%と予想されており、出穂期が予想より早まる可能性があるため、穂肥施用が遅れないように注意しましょう。

表1 幼穂形成期及び出穂期の予想と穂肥時期のめやす（長岡・平場地域）

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥時期のめやす（月/日）（ ）内は出穂前日数		
			1回目		2回目
新潟次郎	6月23日	7月15日	6/20～6/22	(25～23)	7/1 (14)
ゆきん子舞	6月30日	7月22日	6/27～6/29	(25～23)	7/8 (14)
こしいぶき	7月1日	7月23日	6/30	(23)	7/9 (14)
コシヒカリ	7月9日	8月1日	7/14～7/17	(18～15)	7/22 (10)
ゆきみらい	6月24日	7月16日	6/23	(23)	7/3 (13)
わたぼうし	6月27日	7月19日	6/27～6/29	(22～20)	7/7～7/9 (12～10)
こがねもち	7月4日	7月27日	7/9～7/12	(18～15)	7/17 (10)
五百万石	6月26日	7月18日	6/28	(20)	7/6 (12)
たかね錦	6月30日	7月22日	7/2～7/4	(20～18)	7/8～7/12 (14～10)

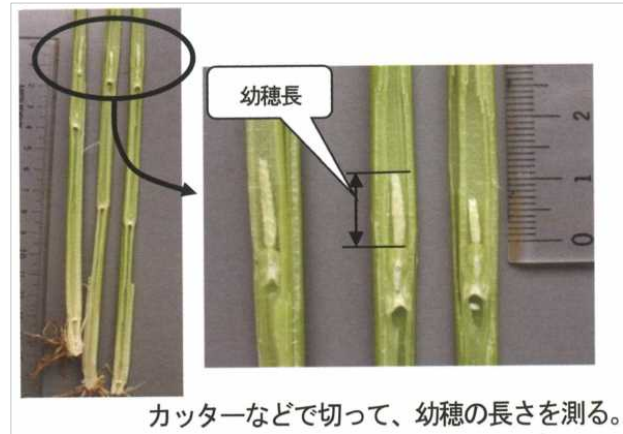
(注) コシヒカリの出穂期予想（経営普及課）を基にした予想値である。

早生品種は5月1～5日稚苗移植を、中生品種は5月10～15日稚苗移植を想定して予想した。

- (2) 幼穂形成期や出穂期はほ場間で差があり、今後の天候によっても前後します。
各ほ場で幼穂確認を行って出穂期を予想し、穂肥の適期を判断しましょう。

ア 幼穂の長さの測り方

- ① 平均的な生育の稲を3株程度選ぶ。
- ② 1株の中で長い方から2～3本の茎を選び、株元から茎を引き抜き、図のように幼穂長を確認する。



イ 幼穂長から出穂前日数を予測する

出穂前日数	幼穂長 (cm)
23日	0.1
20日	0.2
18日	0.5～1.0
12日	4.0～6.0

4 早生品種の穂肥のポイント

(1) 分施（基肥＋穂肥）の場合

幼穂形成期(幼穂長 0.1 cmの時期)を確認し、各品種の適期に施用しましょう。

表2 穂肥施用量のめやす（合計施用量を2回に分けて施用する）

品種名	合計施用量 (N kg/10a)	留意点
ゆきん子舞	6	1回目3～4kg/10a、2回目2～3kg/10a がめやす。
こしいぶき	2	砂壤土など地力の低いほ場では、1 kg/10a程度多めに施用する。
ゆきみらい	5	1回目3 kg/10a、2回目2 kg/10aがめやす。
わたぼうし	2～3	—
こがねもち	1～3	生育過剰の場合は遅めの1回施用とし、1～1.5kg/10a以内にとどめる。
五百万石	1～2	1回目に重点を置く。

- 必ず、たん水してから施用する。大豆あと等では生育に応じて減肥する。
- 特に、ゆきん子舞やゆきみらいでは、1回目の穂肥を幼穂形成期に、遅れることなく施用することが多収のポイントです。

(2) 全量基肥肥料の場合

出穂期の葉色の低下が予想される場合は、追加で穂肥を施用しましょう。

5 病害虫対策

(1) 斑点米カメムシ類

農道・畦畔の雑草は、種子がつかない間隔で草刈りをしましょう。

必要に応じて後期除草剤を使用し、水田内の除草も徹底しましょう。

(水田内の雑草もカメムシの発生源になるため、斑点米の原因となります。)

(2) いもち病

常発地やいもち病に弱い品種、多肥栽培のほ場では、特に早期発見に努め、病斑を見つけ次第防除しましょう。

暑い時期になります。農作業中の熱中症に注意しましょう。農作業事故に注意しましょう。

定点調査ほ場生育調査結果(令和4年6月20日現在)

指標値は5月10日移植を想定

品種	地点名	移植日	(参考) 前年 移植日	草丈			茎数			葉数			葉色		
				本年 (cm)	前年比	指標比	本年 (本/m ²)	前年比	指標比	本年 (葉)	前年差	指標差	本年 (SPAD)	前年差	指標差
ハシコネカキ	長岡市乙吉町 (長岡地域)	5/6	5/8	35	92%	88%	458	146%	107%	9.7	1.6	1.0	44.5	0.7	2.5
	長岡市与板町本与板 (与板地域)	5/4	5/4	38	93%	95%	496	120%	115%	9.3	0.8	0.6	41.9	-0.1	-0.1
	長岡市寺泊下桐 (寺泊地域)	5/4	5/5	36	97%	90%	515	143%	120%	9.0	0.1	0.3	44.1	1.9	2.1
	長岡市中野西 (中之島地域)	5/4	-	43	84%	108%	538	102%	125%	9.2	0.6	0.5	45.0	-3.9	3.0
	平均	5/4	5/5	38	91%	95%	502	124%	117%	9.3	0.8	0.6	43.9	-0.4	1.9
コシヒカリ	長岡市乙吉町 (長岡地域)	5/11	5/11	37	84%	106%	326	63%	91%	8.5	-0.6	0.3	40.1	-2.4	1.1
	長岡市菅畑 (栃尾地域)	5/18	5/21	32	107%	86%	392	100%	131%	8.9	0.7	1.1	41.7	1.4	3.7
	長岡市小国町二本柳 (小国地域)	5/12	5/13	33	87%	89%	527	210%	146%	7.7	-0.7	-0.4	39.4	-2.2	-0.6
	長岡市岩田 (越路地域)	5/9	5/10	40	91%	108%	667	118%	167%	8.9	0.4	0.7	41.5	0.6	2.5
	長岡市寺泊夏戸 (寺泊地域)	5/9	5/16	35	104%	95%	452	129%	113%	8.6	0.3	0.4	39.7	2.3	0.7
	長岡市中条北 (中之島地域)	5/3	5/5	39	89%	105%	389	102%	97%	8.9	-0.5	0.7	38.7	-0.1	-2.3
	小千谷市鴻巣	5/12	5/13	38	88%	103%	466	108%	117%	9.3	0.1	1.1	46.1	1.4	6.1
	平均	5/10	5/12	36	92%	99%	460	112%	123%	8.7	0.0	0.6	41.0	0.1	1.6
	平場 平均※	5/8	5/10	38	91%	103%	459	101%	118%	8.7	-0.1	0.5	40.0	0.1	0.5
	中山間 平均※	5/14	5/15	34	93%	93%	462	129%	131%	8.6	0.0	0.6	42.4	0.2	3.1